

# BOAT TIMES

KUWANO FAX 通信  
<Vol. 76>  
2011/3/25 発行

桑野造船株式会社

〒520-0243 大津市堅田 1-21-2 TEL : 077-573-8001 FAX : 077-573-8002  
URL : <http://www.k-boat.co.jp> E-mail : [kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)

## 東北地方太平洋沖地震で被災されました方々へ 心よりのお見舞いを申し上げます。

東日本大震災で被災されました漕友の皆様のご無事をお祈りします。桑野としてどのような協力が出来るのかを充分に考えて行動する覚悟でいます。ローイングは今年のインターハイのように自然に翻弄されることが多いのですが、今回は人類の生存の根幹にまで入り込んで我々の非力さを見せつけられました。生活の復興が優先されるでしょうが、そのなかで町からローイングが消えない支援に全国の皆さんと力を合わせたいと考えています。【古川】

## 未来に向かって進化

—お客さまの役にたつ存在になる—

- \* 総てに挑戦  
プロの仕事に徹する
- \* 存在価値の追求  
国内メーカーとしての価値を高める
- \* スピードアップ  
総ての仕事に納期を設定する

## ◇新型エルゴ (Dynamic Indoor Rower) の考察【古川】

まもなく日本国内でもデビューするコンセプト社の新しいエルゴについてご紹介します。このマシンは競技レベルの選手が実際に水上でボートを漕ぐ動作に近い状態でトレーニングする事を目的にしています。従って単純にローイングフィットネスを向上するとか健康増進をさせるだけが目的なら従来型で充分です。従来型をスライドに乗せて漕いだ時より更に実漕感に近づけています。ポイントは“可動部分の重量”です。例えば、床に固定したエルゴの可動部分の重量は無限度で総て選手側が移動を強いられます。スライドに乗せたら 28kg、この新型ならそれ以下でたぶん 20kg 位なんでしょう。シングルスカルに乗れば 14kg が可動重量です。この重量と選手の体重比で漕いだ感覚が決まります。ちなみに 4X+艇なら漕手一人当たり 25kg くらいですから、新型エルゴはこれに感じが近いと予想出来そうです。



## ◇ツーリングボートの開発

今年春～夏ごろの完成を目指し、現在新モデルのツーリングボート（丸底タイプのレクリエーションボート）を開発中です。ハルデザインは Klaus Filter 氏に依頼し、6+/6X+、4+/4X+の開発を進めています。4+/4X+については JARA ツーリングボートプロジェクト仕様に対応していますが、それ以外にも様々な配慮を行い、非常に安全性の高いボートになる構想です。主な特徴は以下の通りです。その他詳細についてはお問い合わせ下さい。

- ・ スターン側からの排水機能を備え、ラフコンディションでのツーリングも安心して可能
- ・ コックピットスペースは WinTech スタイルのデッキ一体成形により大きな密閉空間を確保し、浸水時の安全性能は FISA minimum floatation guideline に適合
- ・ キャンバスデッキ、シートデッキ下の密閉空間について、6+は 8 箇所、4+は 6 箇所に独立化し、部分損傷時の安全性にも配慮
- ・ 従来のナックルフォア、オデッセイと同様にトップ/スターンキャンバスデッキに内には浮体を挿入し、完全浸水時の安全性も確保

## ◇ドラゴンボートパドル 認証取得

ドラゴンボート用パドル（IDBF 規格パドル）の販売を開始します。提携工場が IDBF の業者ライセンス（製造許可）を取得し、まずは木製パドルのみの販売となります。カーボン製に関しては随時製作予定で準備を進めています。JDBF による検定も済み、日本国内での販売可能という返事をいただきました。カーボンパドルが主流となっている現在ですが、練習用に木製パドルはいかがでしょうか？チーム、団体が購入されると更にお求めやすくなります。尚、試合で使われる場合は確認のため、各個人にて検定していただきますようお願いいたします。<ISRP Licence Number : 3281>



## ◇お知らせ

### \* 義援金が集められています

日本ボート協会が義援金を募集しています。とりまとめられた義援金については、被災地のボート関係団体、または日本赤十字社へ寄附されます。【振込口座：みずほ銀行 渋谷支店 普通 2651797 口座名 社団法人日本ボート協会】

### \* 地震に備えて、艇の固定を！

艇庫内で艇を保管する際、アームに置いている艇を普段からゴムチューブや専用ストラップなどで固定する習慣をつけることをお勧めします。地震が起こった際にアームからの落下を防ぎ、被害の軽減につながる場合があります。

BOAT TIMES の配信停止をご希望される方は、お手数ですが FAX (077-573-8002) 又は E-Mail ([kuwano@k-boat.co.jp](mailto:kuwano@k-boat.co.jp)) で弊社までご連絡下さい。また、ご意見・ご感想などもお待ちしております。

お手数ですがボート・カヌー関係者へお渡しください。